

X 第6次NACCS EDI仕様書<3>

平成27年12月9日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社



1. 第6次NACCS EDI仕様書の改変事項について（これまでWGにおける提示内容）

- 第6次NACCSのEDI仕様書においては、これまでのWGでの議論を踏まえ、主に下表に示す点について改変を行うことを予定している。（これまでのWGにて提示済み）

表1. 第6次NACCS EDI仕様書改変事項

項番	改変項目	改変内容
1	NACCSパッケージソフト メール処理方式の原則提供終了	ゲートウェイ配下の利用者様を除き、NACCSパッケージソフト メール処理方式の提供を終了する。これに伴い、関係する箇所を 変更・削除する。
2	ダイレクト・インターフェース（DI） 処理方式の廃止	ダイレクト・インターフェース（DI）処理方式の廃止に伴い、関係 する箇所を削除する。
3	自社システム接続利用者様における NACCSの各サーバへのアクセス方法 の変更	第6次NACCSにおけるバックアップ機能の改善に伴い、自社シス テム接続利用者様においてNACCSの各サーバにアクセスする際、 IPアドレスを直接指定する方法から、DNSサーバを参照してIP アドレスを取得する方法に変更する。これに伴い、NACCSの各 サーバへのアクセス方法に関する記載を追記する。
4	メインセンター～バックアップセンター間 の切替時における利用者様側の対応	メインセンター～バックアップセンター間の切替において、利用者様 は特段意識する必要がない旨を追記する。
5	IPアドレス変換禁止ルールの緩和	第5次NACCSにおいて実施されていた、NACCSネットワーク 接続におけるIPアドレスの変換（NAT）の禁止について、一定の 条件を満たす場合であれば、IPアドレスの変換を可能とする旨を追 記する。
6	添付ファイル名の日本語対応及び利用可能拡 張子	<u>通常の添付ファイル業務に加え、MSX業務及びMSY01業務においても</u> 添付ファイル名に日本語を使用することを可能とする。また、添付可 能なファイルの拡張子について規定する。※利用可能な拡張子につい ては現時点での案であり、今後関係省庁と調整の上、決定する予定。
7	その他	e b M S処理方式に使用するサーバ証明書の利用ルールを明確化する。

1. 第6次NACCS EDI仕様書の改変事項について（これまでWGにおける提示内容）

- セキュリティの強化を目的として、利用者パスワードの仕様について下表の項番8～10の改変を行う。また、添付ファイルの拡張子として項番11に示すもののみを利用可とする。
- 利便性の向上を目的として、最大電文長及び添付ファイルの最大サイズの拡張を行う（項番12、項番13）。（これまでのWGで提示済み）

表1. 第6次NACCS EDI仕様書改変事項（続き）

項番	改変項目	改変内容
8	利用者パスワードの仕様	【文字数】 パスワードの文字数が、6文字以上8文字以下であること。
9		【使用文字種】 パスワードは半角英大文字と半角数字を用いること。また、パスワードの文字種に半角英大文字と半角数字をそれぞれ最低1文字以上含んでいること。
10		【履歴管理】 現在の世代を含めて3世代分のパスワードを記録し、パスワード変更の際、これらのパスワードへの変更を不可とする。
11	添付可能なファイルの拡張子（再掲）	各種添付ファイル業務において添付可能な拡張子を以下のように限定する。 <u>特にこれまで一部の業務で利用可能であったZIP形式及びLZH形式ファイルの添付を不可とする。</u> 【添付ファイルに利用可能な拡張子】 "txt"、"doc"、"docx"、"ppt"、"pptx"、"xml"、"htm"、 "html"、"rtf"、"jtd"、"xls"、"xlsx"、"csv"、"jpeg"、"jpe"、"jpg"、"tif"、 "tiff"、"bmp"、"gif"、"png"、pdf"、"jet"
12	最大電文長	700KBに拡張
13	最大添付ファイルサイズ	10MBに拡張

1. 第6次NACCS EDI仕様書の改変事項について（今回の提示内容）

- ご利用者様に意識いただくことなくメインセンターとバックアップセンター間の切替を実施するため、NACCSネットワークにおいて使用しているドメイン名を以下のとおり変更する。（項番14）
- NACCSパッケージソフトの対応OS・ブラウザを以下のとおりとする。（項番15）

表1. 第6次NACCS EDI仕様書改変事項（続き）

項番	改変項目	改変内容
14	NACCSネットワーク内で使用するドメイン名の変更	<p>① 第5次NACCSと第6次NACCSのドメイン名の違いを明確するため、ドメイン名を以下のように変更する。</p> <p>「naccs.customs」→「naccs6」</p> <p>② 第2レベルのドメイン名を以下のとおりとし、ご利用者様にメインセンター、バックアップセンターを意識いただく必要がないようにする。</p> <p>本番環境→「prod.naccs6」 試験環境→「test.naccs6」</p>
15	NACCSパッケージソフトの対応OS・ブラウザ	<p>第6次NACCSのパッケージソフトにて対応するOS及びブラウザを以下のとおりとする。</p> <p>【対応OS】 Windows 7 (SP1) Windows 8.1 Windows 10</p> <p>【対応ブラウザ】※1 Internet Explorer Chrome Edge</p> <p>※1：各ブラウザの対応バージョンについては、今後の動向を踏まえて検討する。</p>

2. NACCSネットワーク内で使用するドメイン名の変更(1)

- ご利用者様に意識をいただくことなくメインセンターとバックアップセンター間の切替を実施するため、NACCSネットワークにおいて使用しているドメイン名を以下のとおり変更する。
- 第1レベルのドメイン名である「customs」を廃止するとともに、これまでの第2レベルのドメイン名「naccs」の末尾に第6次NACCSを示す「6」を付与し、第5次NACCSと第6次NACCSのドメイン名を明確に分ける（表2）。
- 第6次NACCSにおける第2レベルのドメイン名に「prod」（本番環境）と「test」（試験環境）の2種類（予定）を設定し（表3）、第5次NACCSで使用していた「main」（メインセンター）や「back」（バックアップセンター）といったドメイン名を廃止する。
- 第6次NACCSにおいては原則として、メインセンター運用時（通常運用時）、バックアップセンター切替時（メインセンター被災時や障害時）のいずれによらず、常に「prod」ドメインにアクセスすることとする。また、接続試験等、試験を行う場合に限り、「test」ドメインにアクセスすることとする。

表2. NACCSネットワーク内におけるドメイン名の変更

	第5次NACCS	第6次NACCS
ドメイン名	naccs.customs	naccs6

表3. 第6次NACCSにおける各環境の第2レベルまでのドメイン名

	第6次NACCSのドメイン名
本番環境	prod.naccs6
試験環境	test.naccs6

※prod : production environment（本番環境）の略

2. NACCSネットワーク内で使用するドメイン名の変更(2)

- 本番環境及び試験環境における各サーバのドメイン名は以下のとおりとなる。なお、表4、表5の各サーバのドメイン名は現在の想定であり、今後の開発工程において変更があり得る。
- 表4で示すサーバのドメイン名は、メインセンター及びバックアップセンターで共通のドメイン名である。ご利用者様はメインセンター及びバックアップセンターを意識することなく、常にこの表に示すドメイン名にて第6次NACCSの各サーバにアクセスしていただくことになる。
- 接続試験等、試験を行う場合は表5に示すドメイン名にて第6次NACCSにアクセスしていただくことになる。

表4. 第6次NACCSにおける本番環境の各サーバのドメイン名 (例)

サーバ名	第6次NACCSのドメイン名
メールサーバ	mail.prod.naccs6
SMTP双方向サーバ	smtp.prod.naccs6

表5. 第6次NACCSにおける試験環境の各サーバのドメイン名 (例)

サーバ名	第6次NACCSのドメイン名
メールサーバ	mail.test.naccs6
SMTP双方向サーバ	smtp.test.naccs6

3. 接続試験や総合運転試験で使用するドメイン名について

- 今後実施予定の接続試験や総合運転試験において、自社システム接続利用者様においては上述のとおり、“第6次NACCSのドメイン名”を指定して各サーバに接続していただく必要がある。
- 接続試験や総合運転試験にて使用するドメイン名は、別途NACCSセンターよりご連絡させていただく。